

# 地域包括ケアを考える

～求められる「かかりつけ機能」とは～

超高齢化社会の到来に向けて地域包括ケアシステムの構築に対する動きがいよいよ具体化してきました。2018年は診療報酬・介護報酬の同時改定が行われる大きな節目となり、2016年の診療報酬改定はその先鞭と位置付けられています。今後、どのように準備すれば地域から求められる医療機関となり、あるいは介護サービス事業ができるのか、お話いただきます。また、第二部ではそのための地域医師会の役割について、中京区を例に松村氏を交えて意見交換をいたします。

日時： 平成28年 9月 3日（土）14:30～16:35

場所： ハートンホテル京都 1F 「宇治伏見」

京都市中京区東洞院通御池上ル船屋町 405

司会 中京東部医師会学術担当理事 今井内科胃腸科医院 今井昭人

座長 中京東部医師会地域包括ケア担当理事 辻 輝之

## ◆第1部 特別講演 14:35～

「地域包括ケアと在宅を中心に 2025 年に向けての改革を深読みする  
—2016 年診療報酬改定を見据えて」

株式会社メディサイト 代表取締役

大阪市立大学大学院経営学研究科特任教授

松村 眞吾 氏

※日医生涯教育講座【講演】カリキュラムコード： 12. 地域医療 0.5 単位, カリキュラムコード： 13. 医療と介護および福祉の連携 0.5 単位, カリキュラムコード： 80. 在宅医療 0.5 単位

## ◆第2部 意見交換会 16:05～

地区医師会の取り組みからみえてきたこと

共催：中京東部医師会・京都府医師会 お問い合わせ：中京東部医師会事務室 075-255-5731

参加申込書（定員100名） 参加費： 無料

お名前	
所属	

Fax でお申し込みください 075-255-5760